

『中間テスト』から見直す

6月7日(金)、前期中間テストを行いました。昨年度より前後期制を市内中学校で先行実施し、中間テストも初めて実施しました。今年度で2回目となります。

取組期間中は、学級通信や黒板通信、ホワイトボードメッセージ等で取組状況や取り組み方が紹介されたり、中間テストの意味について述べたりしているところを見ました。

5月7日に実力テストが実施され、体育大会前後にテスト結果が返却されています。その結果を受けて、何ができたか、何が変わったか、というところがポイントであると言えます。テストの結果だけに一喜一憂はもったいない。

テスト結果・・・答案用紙を見て、出来ていなかったところをやり直す、どうしてもわからないところがあったら、仲間や教科担任の先生に聴いて解決する、類似問題に取り組む、といったテスト直しとともに、日常の取り組み方を見直す(時間よりもまずは内容について)ようにすることです。テスト直しにじっくりと取り組むことができれば、日常の取り組み方もすぐに変わってきます。

要はテストと日常に太いパイプをつくることです。それぞれが別のものではなく、弱々しいものでもなく、日常の中に組み込んでしまうくらいになれば、テスト直前に焦ることもなく、諦めることもなくなります。

今回の中間テストも、結果の見直しとともに、これからの授業・家庭学習の取り組み方について考える材料とすることが大切です。チャンスです!

